

「環境×建築

6回連続セミナー 2013

基礎編」のご案内

Environment

2013.8.24 セミナー入門学 1

2013.9.28 セミナー入門学 2

2013.11.16 セミナー入門学 3

2014.1.25 光と風/開口部の魅力的な設計

2014.4.26 森の恵みをもっと建築に

2014.5.31 環境と文化/これからの環境建築

rchitecture

本セミナーは、改正省エネ法に向き合い  
多様な地域性を育む方策を探り、  
豊かで持続可能な建築の多様な提案力養成  
を目的とした、6回連続のセミナーです。  
毎回この分野に造詣の深い多彩な  
講師陣をお迎えし、座学+演習の「身につく」  
講座内容を企画しておりますので、  
ぜひご参加ください。

\*2014年度は「実践編」を開催する予定です。



# 「環境×建築 連続セミナー2013 基礎編」開催概要

- 開催日・会場:下記プログラムをご参照ください。●具体的な会場情報、プログラムの詳細や伝達事項は、参加者の皆様へ直接ご連絡させていただきます。
- 開催時間:各回共通 土曜日 13:00-18:00 ●座学2時間、演習3時間を予定しています。●事前に「課題」をご連絡し、セミナー当日にご持参いただく講座もあります。
- セミナー後に、学んだことを深め合う交流夕食会を開催いたします。(自由参加、参加費は別途ご案内)
- セミナー開催日の翌日に、希望者によるエクスカージョンもおこないます。
- 定員:最大70名 ●演習をともなう実践的な講座内容、また講師陣とのコミュニケーションを充実させるために少人数制としています。
- 年間受講料(6回分):30,000円
- ※記載内容は、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。なお変更があった場合は、直宜参加者の皆様にご連絡いたします。

## 第1回 2013年8月24日(土)「セミナー入門学 1」

会場:愛媛県四国中央市新宮町 霧の森交湯～館研修室  
★演習課題:実際のエネルギー消費量を把握する



◎講師:宿谷昌則氏(東京都市大学 教授)

### 「人の住まいと環境技術 -身の丈にあった建築技術・デザインとは何だろうか-」

東京都市大学 教授(環境学部 環境創生学科)。専門は建築環境学。自然のポテンシャルを活かした光環境や熱環境づくりについて、熱力学・人間生物学の視点に立つた研究と教育に携わっている。著書に「Exergy: theory and applications in the built environment」(2013年1月、Springer-Verlag London)、「エクセルギーと環境の理論」(改訂版2010年9月、井上書院)など。



◎講師:寺尾信子氏(建築家)

### 「私のモノサシを確認する」

東京生まれ杉並区在住。横浜国大建築学科卒業、同大学院修士課程修了。寺尾三上建築事務所(代表取締役)。集合住宅・集会所等の設計に従事。日本建築家協会・JIA環境行動ラボ(研究員)。2012年STUDIO TERAOS開設以後、省エネルギー建築の設計・研究・啓蒙活動を主要な分野として業務・活動に携わる。

## 第2回 2013年9月28日(土)「セミナー入門学 2」

会場:徳島県神山町下分字地野49-1 神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックス  
★演習課題:設計時におけるエネルギー計算



◎講師:澤地孝男氏(独立行政法人 建築研究所 環境研究グループ長)

### 「自立循環型住宅設計とは」

東京都生まれ。若年より「環境」に興味を持ちながら建築の道に入る。残念なことに、建築の環境性能は、グリーンとかエコとか、イメージ中心で語られることが多い世界であるが、誰もわかっていないこと、実務者に届いていない知識がまだまだ多い分野である。つくば市にある建築研究所と国土技術政策総合研究所の研究者グループの一員として、科学的裏付けのある環境性能に関する知識の創造と実務者への普及に努めている。



◎講師:辻 充孝氏(岐阜県立森林文化アカデミー 准教授)

### 「実践で活かすエネルギー設計法」

Ms建築設計事務所を経て現職。木造建築の設計、温熱環境、エネルギー性能評価の講座を受け持つ。共著に「木の家リフォームを勉強する本」「省エネ・エコ住宅設計図極マニュアル」。2009年第五回木の建築賞大賞、2010年地域住宅計画賞自立循環型住宅部門、2012年地域住宅計画賞作品部門を受賞。2012年～日本建築士会連合会環境部会委員。一級建築士。

## 第3回 2013年11月16日(土)「セミナー入門学 3」

会場:愛媛県四国中央市新宮町 霧の森交湯～館研修室  
★演習課題:省エネ基準の改正によって必要な計算プログラム



◎講師:鈴木大隆氏(北海道立北方建築総合研究所 環境科学部長)

### 「住まいの省エネルギー化と居住環境の質の向上を目指して」

建築環境工学と建築構法計画の中間領域で、主としてエネルギー・耐久性・室内環境の質の向上の面からさまざまなエンベロップデザインに関する研究を行う。かわら、研究成果を活かして、北総研庁舎をはじめとして、エコスクール、住宅等の環境設計にも多数参加。また1992年より国の住宅省エネ基準・施策検討に参画し、成果を「かたちにする」を最大のモットーに活動。博士(工学)



◎講師:篠 節子氏(建築家)

### 「伝統的木造住宅の実測調査から」

日本女子大学家政学部住居学科卒業。アルセッド建築研究所にて文化施設・福祉施設・診療所・住宅等の設計及びまちづくりに従事。2009年篠計画工房を開設し、設計活動と共に持続可能な社会のまちづくり・住まい・暮らし方について研究・啓蒙活動を行っている。JIA環境行動ラボ内に伝統的工法のすまいWGを立ち上げ、次世代に継承する為伝統的工法の住宅の温熱・省エネ性能の調査研究活動に携わっている。

## 第4回 2014年1月25日(土)「光と風/開口部の魅力的な設計」

会場:岡山県浅口市鴨方町六条院中 おかやま山陽高等学校  
★実践課題:開口部の技術力を探り、地域力を育む



◎講師:井上 隆氏(東京理科大学 教授)

### 「開口部と省エネルギー」

富山県生。東京大学工学部建築学科、同大学院、建設省、東京大学助手、東京理科大学講師、助教を経て現職。工博。空気調和・衛生工学会副会長。空気調和・衛生工学会賞、日本照明賞、環境・省エネ建築賞建設大臣賞、PLEA Best Paper Award、環境・設備デザイン賞など受賞。建築・住宅の省エネ、窓など透明外皮における熱と光の制御による省エネ・快適性向上を目指し活動している。



◎講師:木原正進氏(キマド株式会社 代表取締役)

### 「木製サッシの技術と取り組み」

本社富山市、東京営業所池袋。日本の気候に合った窓作り/第1世代～第16世代サッシへと変革/何が窓を変えたか/その根底にある覚悟と設計思想/CO<sub>2</sub>本位性取り組み/現場から何を学び改善したか/建築家から与えられた宿題/自力の次に他力あり/与えられた問題をどう捉えるか/今後の窓の方向性をどの様にしたいのか/他社と同じ物作りは世間から見下される/ダントツ商品とは/製品の普及には何が足りないのか

## 第5回 2014年4月26日(土)「森の恵みをもっと建築に」

会場:高知県高岡郡高岡1426-2 地域活力センターゆすはら夢来館  
★実践課題:地域素材を活かす取組み一森に行く・製材所に行く



◎講師:外崎真理雄氏(独立行政法人 森林総合研究所四国支所長)

### 「建築木材利用と二酸化炭素削減」

専門は木材の振動・音響的性質であるが、1991年より建築学会地球環境委員会で活動し、2000年の「地球環境・建築憲章」、2009年の「建築関連分野の地球温暖化対策ビジョン2050」の起草に関わる。またIPCCの「2006温室効果ガスインベントリガイドライン」で伐採木材製品(HWP)の章を担当する。1998年より木材利用の環境貢献を定量化する研究プロジェクトを続けており、木材需要拡大のために活動している。



◎講師:古川 保氏(建築家)

### 「地域素材を活かせる -山と住宅を結びつける取組み-」

産直住宅はうまくいくのか。安く買いたい買手と高く売りたい売手の意向は相反する。途中を中抜きしたとしても、手間は誰かが負担しなくてはならない。外材より国産材が安いのに需要が伸びないのは、合理化建築と合理化供給が原因だろうか。昔の供給システムを紐解こう。伝統的構法の家造りに解があるように思える。資源問題、エネルギー問題、産廃問題、雇用問題も同時に解消する。

## 第6回 2014年5月31日(土)「環境と文化/これからの環境建築」

会場:岡山県浅口市鴨方町六条院中 おかやま山陽高等学校  
★次年度に向けての車座会議:  
特例3地域型建築のガイドラインへの提言の第一歩



◎講師:野沢正光氏(建築家・JIA環境行動ラボ委員長)

### 「環境建築の動向・地域の気候と資源を活かす」

東京生まれ。東京藝術大学美術学部建築科卒業。大高建築設計事務所を経て野沢正光建築工房設立。現在、武蔵野美術大学客員教授、横浜国立大学工学部・法政大学大学院非常勤講師。2002年JIA環境建築賞最優秀賞(いむらかずお絵本の丘美術館)、2012年日本建築学会作品選奨受賞(立川市庁舎)著書に、「環境と共生する建築」、「地球と生きる家」、「パッシブハウスはゼロエネルギー住宅」など



◎講師:山本長水氏(建築家)

### 「土佐派の建築から提案する」

地域型の建築のデザインを追求する「土佐派の家」のグループでは最年長の1936年生まれ。1966年から山本長水建築設計事務所を主宰し、かたつむり山荘(JIA25年賞)高知県立中芸高校格技場(日本建築学会賞)相愛本社(日本建築学会作品選奨)など地域の木、漆喰、和紙を使った手法が一定の評価を得ている。家業が山林経営であり、木の利用手法についてはそれなりの情報を持っている。

## ■お申し込み方法

JIA四国支部ホームページ(<http://www.jia-shikoku.org>)

のトップページ・バナーよりお申し込みください。

受講料の振込方法につきましては、追ってご連絡いたします。定員数に達し次第、締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

## ■お問い合わせ

ご質問等ありましたら、下記メールアドレスにてご連絡ください。

[kanky@jia-shikoku.org](mailto:kanky@jia-shikoku.org)

●主催:公益社団法人 JIA四国・中国支部 環境×建築 連続セミナー実行委員会

●協力:公益社団法人 JIA環境行動ラボ

環境×建築連続セミナー実行委員会 役員:委員長:新居照和/副委員長:大角雄三/事務局:細木茂、島羽知夫